

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表 (愛光苑松本サポートセンター 施設内)

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント	
			できて いる	るほ ぼで きて い	こと が多 くない	でき てい ない	な全 くで きて い		コメント
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			ご自宅での生活を最期まで送れるような身体介護・生活援助を目指している。	看護師がいることで医療面で強みを感じる。私も母が施設に入居しているのでも良い目標であると思います。	
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				月1回の介護員会議を設け、情報の共有を行っている。	とても良い取り組みであると思う。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				月1回の社内研修。(職員が集まり研修をする)毎月提出の個別研修。(個々が掲げたテーマについて学び、レポート提出する)	とても良い取り組みであると思う。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			職員・利用者様それぞれにあった人員配置を行っている。	とても良い取り組みであると思う。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			スマケアを使って情報提供や情報の共有を行っている。	職員間で細かい情報交換が行われていて安心である。	
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			状況に応じて対応ができるように人員配置ができています。	24時間介護があることで安心感がある。職員間で細かい情報交換が行われていて安心である。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		頂いたご意見については、サービスに反映できるように心がけています。		
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			スマケアを利用して、情報の共有に努めている。	モニタリングを書面で毎月だしてくれることで情報量が増え、様子もわかりとてもいい。良い変化についても随時連絡をいただくと大変有難い。家族としてはとても安心でどんな些細なことでも報告してほしい。	
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			BCPを作成しました。いつでも対応できるようになっている。		
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			契約時に個人情報使用同意書を交わしている。職員にも個人情報保護について説明を行っている。研修も行い各職員周知徹底している。	とても安心できる。	
<b>II 過程評価 (Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			月1回モニタリングを行っている。状況によってはケアの見直しもしている。	生活のリズムがパターン化になっているところも感じる。看護師の視点の方が強く感じる。人の気配を感じるとも過ごす事が生活の意欲へつながっている様子。とても良いと思う。家族としても安心。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			スマケアを斉送信・担当者会議などを利用して情報共有に努めている。	担当者会議に看護師が出席してくれることで介護看護両面からアセスメントされていることを知ることができている。とても良いと思う。家族としても安心。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			ケアマネが作成した計画に沿って計画書作成し、計画書に沿ってケアを行っている。	とても良いと思う。家族としても安心。	

	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○		アセスメントを行いながら、ご本人に沿ったケアを行っている。またケアマネに相談し、アドバイスをいただきながら、ケアを行っている。	変化は都度連絡が入っている。どんな些細な事でも連絡相談してもらえるのは有難い。
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>							
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○		利用者様の状況に合わせ、必要であれば定期訪問以外にも訪問している。ケアマネなど各関係機関とも連携を取りながら対応している。	外定期巡回は提供時間の変更などは連絡がはいつているが、つ節ない定期巡回はどのようになっているか不透明。臨機応変対応はとても良いと思う。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			モニタリングを書面で毎月だしてくれることで実施されていることがよくわかる。臨機応変対応はとても良いと思う。
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○		看護職は利用者様の心身の状況を把握し自立した日常生活を支援する上で解決すべき課題を把握。介護職はアセスメント、計画に基づきサービス提供する	担当者会議の際、介護職、看護職とそれぞれの意見を聞くことができる。両者のケアでより安心である。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○		看護からの情報や対応についてアドバイスを受け、今後のケアに活かしています。	担当者会議に看護師が出席してくれることで看護師の指導、助言があることを知ることができている。皆が周知してくれていると安心。
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○		利用前にサービス内容をケアマネなどの各関係機関の皆さんと話し合い確認してサービスに入らせていただいている。生活環境が変わってしまふ利用者については、生活になれるまでは焦らずご本人へ確認しながらサービスさせて頂いている。契約時にもサービス内容を説明し、ご理解頂いてからサービスに入っている。	施設の空き状況を問い合わせた時に、現在の施設内がどのような様子なのか説明してくれるため、利用者に伝える時に参考になっている。施設見学などの際、家族はよく分からず不安を抱えていると思うので、しっかり具体的な説明はありがたいと思う。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○		担当者会議を活用するなどして、利用者様に内容を伝え、理解して頂いてからサービスに入っている。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○		ご家族様・ケアマネさんとの連携に努めている。状況によっては、福祉用具業者やデイサービスへのケア情報共有もやっている。	報告、相談をもらい、更に解決方法について一緒に考えてくれている。ケアマネ・家族に対して状況の変化をきめ細かく教えてくださる。
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>							
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○		担当者会議等を活用して情報の共有に努めている。必要に応じて各関係機関との連携に努めている。	情報は伝えてくれているが、提供日時は施設側の都合が主となっている。速やかな対応はありがたい、安心。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○		プラン変更が必要であれば、ケアマネと相談して変更を依頼するなど行っている。ケアマネとの連携は大切にしている。	ケアプランの提供はないが、情報提供があるので、ケアプランの検討が早くにできている。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○		担当者会議では、定期巡回事業所としての意見や情報を提供している。担当者会議で決まったことは、他職員へ伝え共有している。	コロナ禍でも担当者会議開催のために努力してくれていた。会議の際は情報を伝えてくれている。
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>							
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○		担当者会議を通じて情報の共有に努めている。	良い取り組みだと思う。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○		退院の際には、退院カンファレンスの開催または、退院サマリーをいただき情報共有に努めている。	事前面談の際生活の拠点を見てもらう対応をしてくれた。

多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)			○	介護医療連携推進会議を活用しながら情報交換を行っていかねばいけないが、昨年度はコロナ感染防止のため書面にて行った。5類となり開催されることになった。	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○	ホームページに掲載している。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○	松本市のホームページに介護保険事業所一覧に記載されている。	サービスの周知はとても大切だと思う。
<b>(2) まちづくりへの参画</b>							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○	研修内容に取り入れて、研修を行っています。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている			○	移動時間30分未満で対応していきたいと考えているが、利用希望の利用者がおりましたら検討していきたい。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)			○	市町村が行う情報交換や研修の場があれば参加して情報収集などに努めたい。	
<b>III 結果評価 (Outcome)</b>							
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている			○	ケアマネが作成するプランに沿ったサービスを行っている。変更などが必要な場合はご家族・ケアマネに相談し、ご本人あったサービスに努めている。	丁寧な対応、穏やかに過ごされている。変更などとしてもとても安心。素晴らしいですね。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている			○	利用者様より、愛光苑さんの協力があったこそ在宅での生活が維持できる。と言う言葉が聞かれる。	24時間介護看護の対応があることと、急な対応も金額に変更がないことで安心感がある。